

## 平成28年熊本地震についての国土交通省の対応状況

### 国土交通省の主な対応

#### (1) 住環境

##### ■応急的な住まいの確保等

- ・ 応急仮設住宅：8市町村で904戸の建設に着手 (5/10までの累計)

※西原村(にしはらむら)302戸、甲佐町(こうさまち)90戸、益城町(ましきまち)160戸、嘉島町(かしままち)125戸、宇土市(うとし)40戸、宇城市(うきし)60戸、御船町(みふねまち)71戸、南阿蘇村56戸

- ・ 民間賃貸住宅の空室提供：県内で2,062戸を提供済み (5/10集計)

- ・ 公営住宅等の空室提供：全国で900戸(九州内で807戸)入居決定済み (5/10集計)

##### ■二次的避難所の確保

- ・ 旅館・ホテルへの被災者受入れ：5月9日現在、1,646名を受入決定済

- ・ 八代港での民間フェリー「はくおう」：5月10日までに1,574名が利用

##### ■建築物、宅地の危険度判定

- ・ 被災建築物：18市町村で53,324件実施 (5/9現在)。

※5/5までに面的な判定は完了(県外からの応援も完了)。以後は住民等からの要望に応じた個別の判定を実施

- ・ 被災宅地：6市町村で12,156件実施 (5/8現在)

## (2) 大規模被災インフラの復旧

### ■阿蘇大橋地区（斜面对策、国道 57 号・325 号、JR 豊肥（ほうひ）線）

- ・阿蘇大橋地区崩壊斜面箇所<sup>の</sup>斜面安定化と国道 57 号・325 号、JR 豊肥線の一体的な整備に向け、国の技術力の総力を結集して早期復旧・供用を目指す。（斜面安定化対策は直轄砂防、国道 325 号阿蘇大橋の復旧は直轄代行で実施。）
- ・直轄砂防による斜面对策と、道路、鉄道の安全かつ迅速な復旧のため、技術検討会を開催（5/10）、安全施工に必要な斜面監視体制を確認
- ・国道 57 号の迂回路確保のため、並行する複数の県道等の舗装修繕を継続するとともに、ボトルネック交差点の改良工事を実施中。

## (3) 交通

### ■道路関係

- ・熊本県・大分県・宮崎県内の国道・県道・市町村道 290 箇所程度で通行止め

### ■鉄道関係（運転休止）

- ・JR九州 豊肥線（肥後大津（ひごおおつ）駅～豊後荻（ぶんごおぎ）駅間）

※被災箇所（阿蘇大橋地区を除く）の調査を終え、現在、復旧方法等を検討中

※バスによる代行輸送

・宮地（みやじ）駅～豊後荻駅間：当分の間実施

・肥後大津駅～宮地駅間：当分の間（平日朝夕のみ）実施

- ・南阿蘇鉄道 全線

※4 月末に現地調査を実施し、被害箇所を特定。復旧方法等は今後調査予定

※緊急通学バスの運行を南阿蘇村と高森町（たかもりまち）が合同で、1 学期間を目途に実施

### ■空港関係

- ・熊本空港：現在、旅客便は通常の約 8 割（60 便程度）運航中。

※ターミナルの応急復旧を進め、5 月中旬に 4 つの搭乗ゲートの待合室が使用可能となり、被災前の運航便数に対応可能となる予定

※ターミナルの本格復旧：詳細調査後、熊本県、民間ビル会社等の意向を踏まえ、検討

#### (4) 熊本城の復旧等

##### ■熊本城の復旧

- ・熊本城の復旧に向けた国土交通省、文化庁、熊本市、熊本県の連絡調整の会議を明日に開催予定。
- ・文化庁と連携し、天守閣等の公園施設の復旧を災害復旧事業により支援予定。(文化庁は宇土櫓(うとやぐら)、石垣等の文化財等の復旧を支援予定)
- ・熊本市と調整のうえ、国土地理院の UAV 撮影チームが本日から現地で崩壊石垣等を撮影。

##### ■その他、観光関係

- ・「訪れることが支援になる」との観点から、九州各県の宿泊施設の空室情報につき、観光庁、旅行業協会、主要旅行業者のサイトで提供
- ・文部科学省を通じ、各都道府県の教育委員会に対し、九州方面への修学旅行の取りやめについて、慎重な対応を要請
- ・国内外の旅行者へ JNTO のウェブサイト等で引き続き正確な情報を発信
- ・関係省庁と連携して、宿泊業者等に対する必要な資金の融資等の支援に取り組む

##### 市町村支援等

○TEC-FORCE のべ 8,007 名(5月11日現在 98 名)

自治体所管施設の被災状況調査を代行。激甚災害指定に係る所要期間の短縮に貢献。

○リエゾン のべ 1,388 名(5月11日現在 49 名)

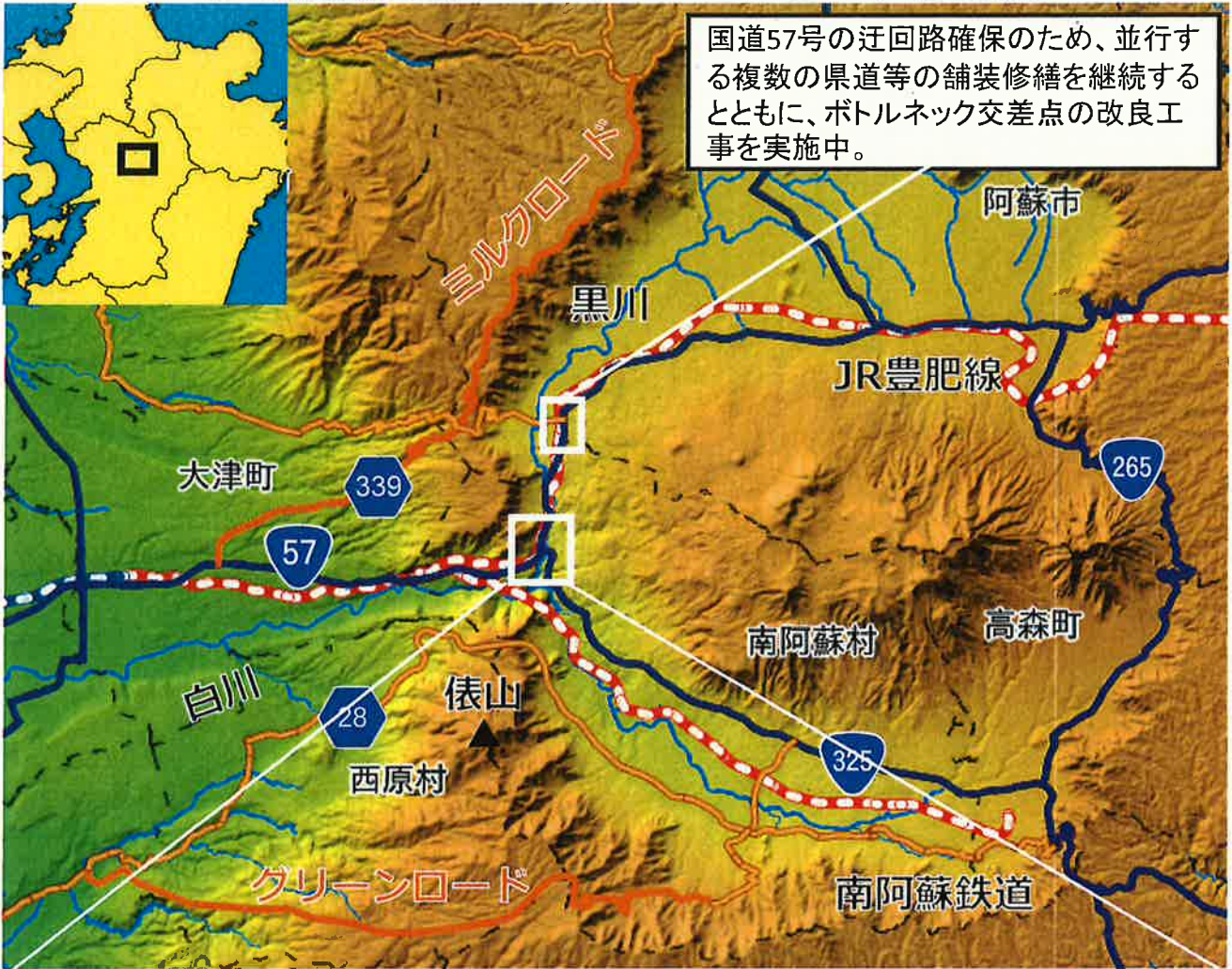
熊本県庁 3、熊本市 2、益城町 3、御船町 2、嘉島町 2、西原村 3、南阿蘇村 4、菊池市 2、宇土市 3、大津町 2、阿蘇市 2、菊陽町 2、甲佐町 2、大分県庁 2、熊本現対本部 9、八代港 6

○照明車、対策本部車、衛星通信車等 52 台

○海洋環境整備船及び海上保安庁巡視船等 147 隻・日 ※熊本、八代等 5 港



# 大規模被災インフラの復旧



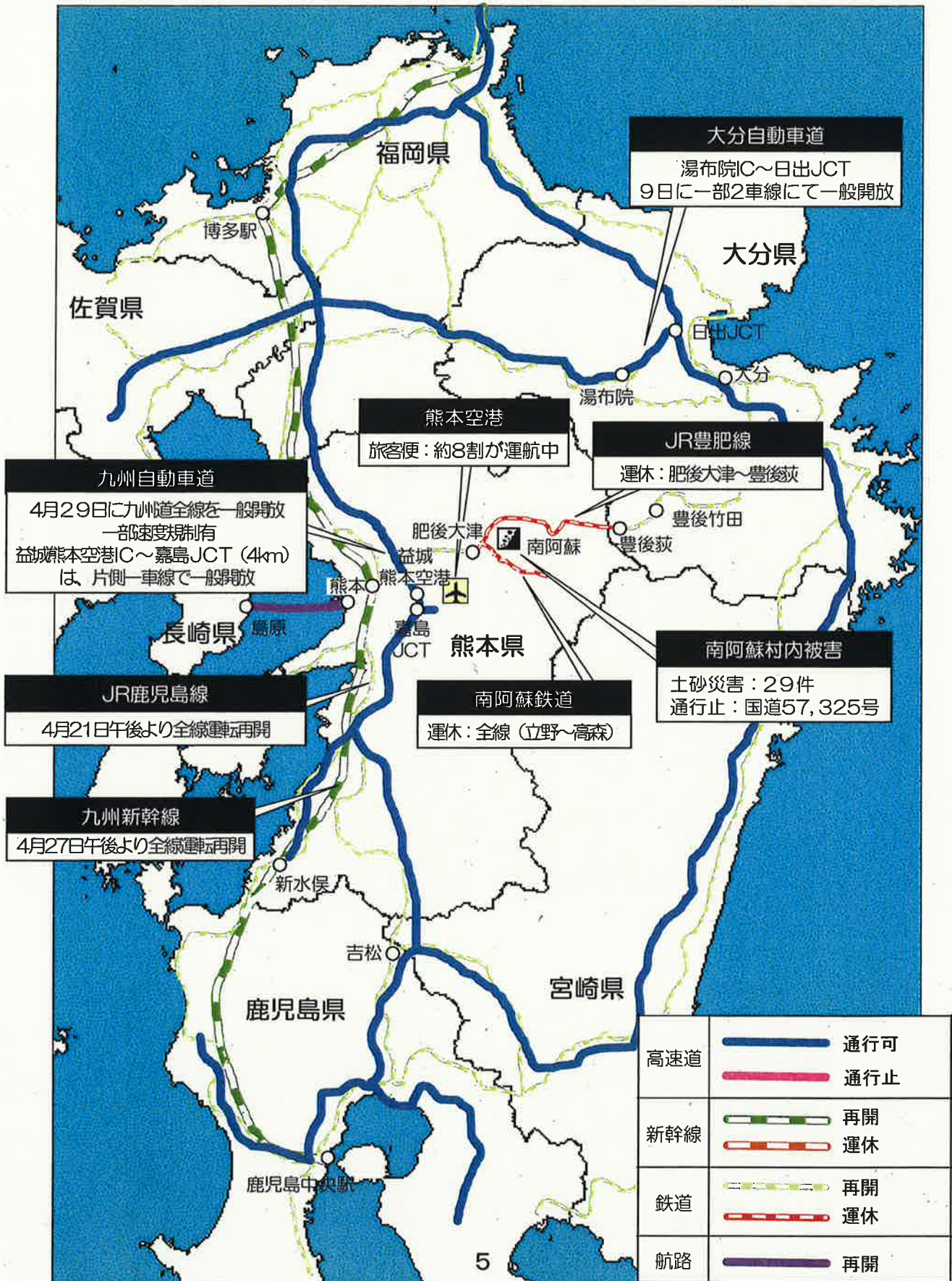
○直轄砂防による斜面对策と、道路、鉄道の安全かつ迅速な復旧のため、技術検討会を開催(5/10)、安全施工に必要な斜面監視体制を確認



# 熊本地方を震源とする地震について

国土交通省関連

※5/11 15:00現在





## I. 避難所の確保

### ①一次避難所

- ・学校、公民館などの公的施設
- 【257ヶ所12,099人】

### ②二次避難所

#### (1) 宿泊施設

1,646名受入決定済  
(5/9現在)

#### (2) 船舶

1,574名受入(5/10現在)

### 被災建築物 応急危険度判定 の実施(4/15～)

18市町村、53,324件実施  
(5/9現在)

※被害が大きい地区や避難所から  
帰宅できない者が多い地区などを  
中心に、5/5までに面的な判定は  
完了(県外からの応援も完了)

※現在は、住民等からの要望に応じ  
た個別の判定を実施

自宅の損傷が軽微な場  
合は、地域のライフライン  
の復旧後、帰宅

## II. 応急的な住まいの確保

### ①公営住宅等の空室提供

熊本県内計：	950戸 (うち入居決定 368戸)
・熊本県	: 153戸 (うち入居決定 62戸)
・熊本市	: 250戸 (うち入居決定250戸)
・その他市町村	: 212戸 (うち入居決定 56戸)
・国家公務員宿舎等	: 266戸 5/6～17受付 5/19結果通知
・雇用促進住宅	: 69戸 5/3～6受付 5/13結果通知

※上記以外に今後、約500戸の供給余力あり

九州全体計：	4,752戸 (うち入居決定 807戸)
・熊本県以外の九州各県:	3,247戸 (うち入居決定372戸)
・U R	: 367戸 (うち入居決定 32戸)
・国家公務員宿舎	: 122戸 (うち入居決定 35戸)
・雇用促進住宅	: 66戸 5/3～6受付 5/13結果通知

全国	: 10,820戸 (うち入居決定 900戸)
・九州以外の都道府県	: 6,068戸 (うち入居決定 93戸)

### ②民間賃貸住宅の空室提供※

- ・県から協力要請を受けた不動産業界団体が無料電話相談窓口を開設(4/25)
  - ・被災者の申込みを受け順次空室を提供：2,062戸(5/10集計分)
- ※応急仮設住宅の要件に該当する者については、借上げ型仮設住宅(いわゆる、みなし仮設)として提供される

### ③応急仮設住宅の建設

- ・8市町村で904戸の建設に着手(5/10までの累計)  
(西原村302戸、甲佐町90戸、益城町160戸、嘉島町125戸、宇土市40戸、宇城市60戸、御船町71戸、南阿蘇村56戸)
- ・7市町(熊本市、阿蘇市、美里町、大津町、菊陽町、山都町、氷川町)においても、建設地、配置計画等を協議中
- ・UR、地方公共団体職員による建設業務支援(15名体制)

## III. 恒久的な 住まいの確保

- ・自力での再建・補修等を支援

### ①被災者生活再建 支援金制度

### ②住宅金融支援機 構の災害復興住 宅融資制度

- ・電話相談(4/15～)

### ③再建・補修等の 相談体制の整備

- ・電話相談(4/26～)
- ・専門家の派遣(4/29～)

自力での再建等が  
困難な被災者への  
公営住宅の整備